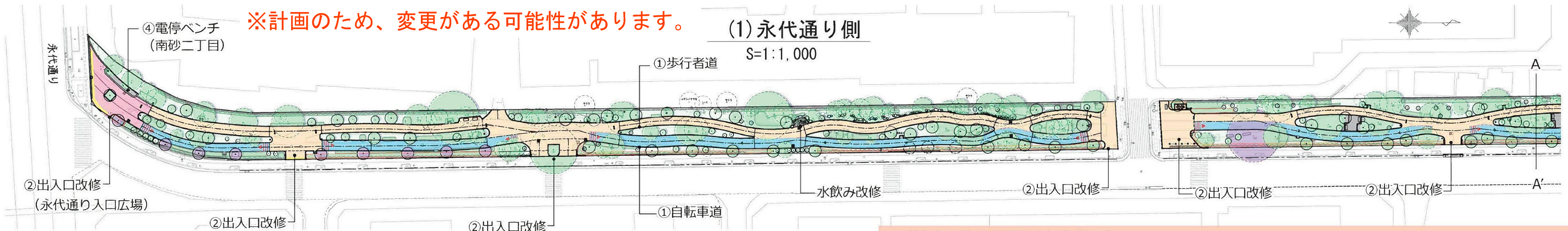


※計画のため、変更がある可能性があります。

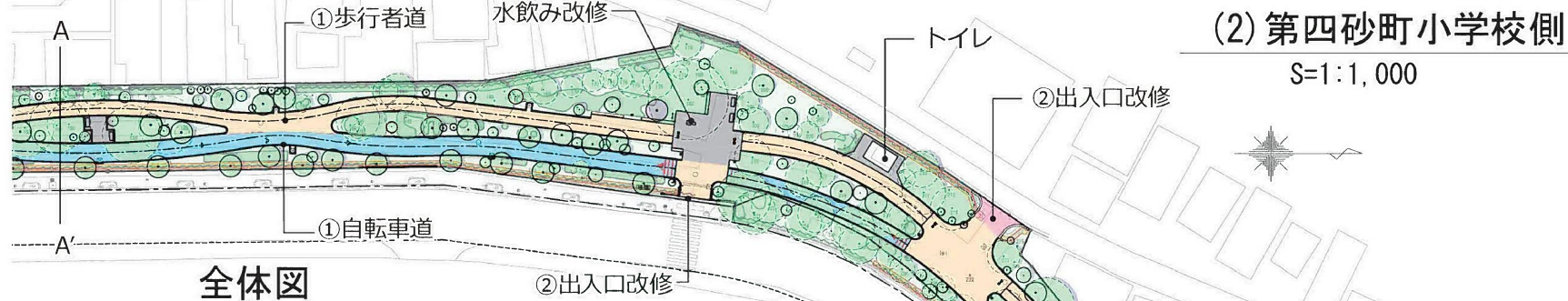
(1) 永代通り側

S=1:1,000



(2) 第四砂町小学校側

S=1:1,000



全体図

(1) 永代通り側

(2) 第四砂町小学校側



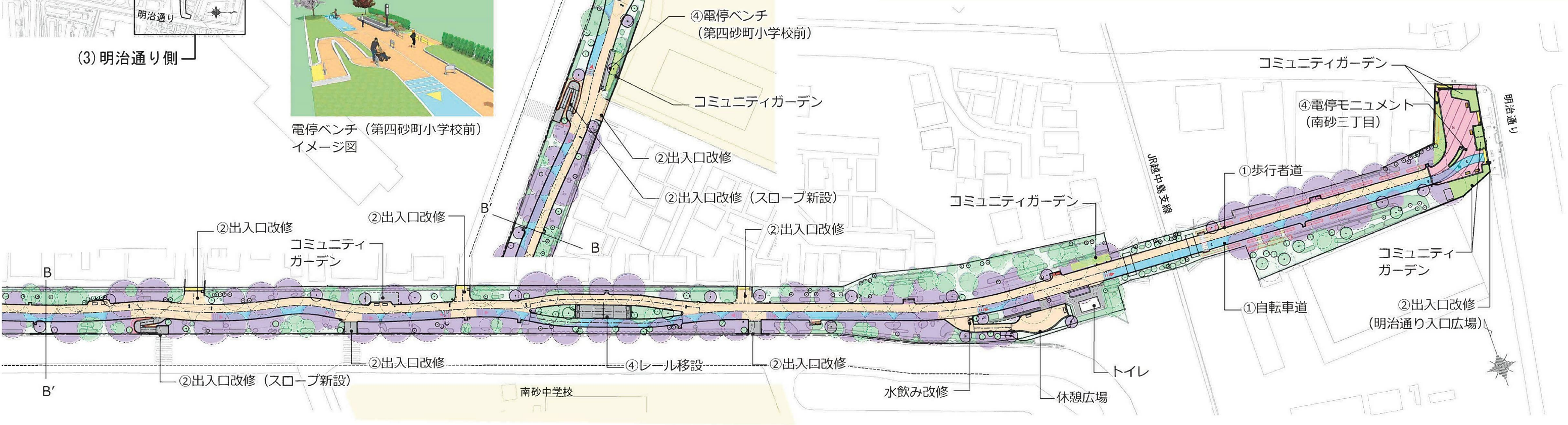
(3) 明治通り側



永代通り側入口広場イメージ図



電停ベンチ (第四砂町小学校前) イメージ図



■公園施設の課題点と改修案

- ①歩行者道と自転車道が交差して危険なため、直線型とするとともにわかりやすい色彩や効果的なサインの掲示により明確化し、利用者の安全を確保します。
- ②出入口で自転車と歩行者の衝突の危険があるため、車止めの配置を工夫して自転車の速度を抑制します。また、バリアフリーに改修します。
- ③喫煙やゴミの不法投棄など、効果的なサイン掲示により、利用者マナーの周知と改善を行います。
- ④緑道は都電軌道の跡地であったため、都電の電停をモチーフにしたモニュメントを敷地内に存在していた3駅の各所に設置し、往時の軌道敷きの風景を再現します。
- ⑤ベンチ等公園施設は老朽化がみられます。そのため、補修で対応できるものは補修して再利用し、老朽化が著しいものは耐久性のある素材に改修します。

■植栽の課題点と改修案

- ⑥生垣や低木は見通しを阻害している箇所もみられます。そのため、撤去又は刈込みし、接道からの視認性を確保します。
- ⑦多数植栽されているツバキ・サザンカ類はチャドクガの被害がみられます。そのため、除伐等により、チャドクガ被害の抑制を行います。
- ⑧高木は間引きや剪定等の適切な植栽密度に管理し、風通しの良い植栽空間の創出とヒートアイランド現象の緩和に貢献します。
- ⑨魅力ある景観の再生と緑の量を維持・増加するため、樹木を補植します。
- ⑩衰弱したソメイヨシノは更新を検討し、魅力ある景観資産の継承を図ります。